

タイトル： 稼働率向上を目指す～白糠町唯一の特養として～

キーワード ※3つ記入。

ショートステイ	法人名	社会福祉法人 孝仁会
業務改善	施設種別	特養
協業の工夫	施設名	特別養護老人ホーム清和園

研究者 (取組に関わった方のお名前5名まで)	氏名	職種	備考
	① 磯辺 涼	生活相談員	相談ケアマネ主任 長期入所担当
	② 西田 博戸	生活相談員	ショートステイ担当
	③ 星川 学	施設長	
	④		
	⑤		

施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人	経営主体	社会福祉法人（平成20年から）
開設年月日	昭和59年4月1日	所在市町村	白糠町
市町村人口	7,154 人	65歳以上人口 (高齢化率)	3,123 人 (高齢化率 43.7 %)
利用者定員数	72 人	利用者平均年齢	85.7 歳
職員数	76 人	職員数内訳	介護職 42 名 看護職 5 名
併設施設・事業	短期入所生活介護、通所介護		
施設のサービスの概要	清和園のコンセプトは、利用者、家族、職員に「清和園にして良かった」と感じてもらうこと		

発表の概要

<p>①取り組んだ課題</p> <p>平成20年設立の歴史が浅い当法人にとって、事業を継続していくためにはベッド稼働率が重要となる。特に旗艦施設である清和園は赤字事業所をカバーしなければならず、年間97%以上の稼働率が必要でる。稼働率向上プロジェクトと題し、全職員で取り組むこととなった。</p>	<p>③活動の成果と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト開始年度から2年連続、目標である97%を達成。 ●施設全体で目標を達成するという経験から、白糠町内唯一の特別養護老人ホームの役割を明確にすることができた。 ●ニーズに合わせたサービスの提供により施設のコンセプトを実現させることができた。
<p>②具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全職員に目標と方針を共有すべく複数回の説明会を実施した。 ●各部門長は稼働率向上のために行動する計画を立て実行する。 ●ベッドが空かないよう利用者を受け入れていく。延べ利用者数が増え、入退所者の回転が早くなっていくと徐々に、相談員ケアマネと医務室、介護ユニット間の関係が悪化し、冷戦状態となる。 ●各部門長は協業のために必要なことを確認、実行していく。相談員ケアマネ、医務室、介護ユニットの部門長がチームとして機能しはじめる。 ●施設全体が、利用者の受入れに積極的、寛容的になっていくが、業務の煩雑さが課題となる。 ●相談員業務の改善を効率化を行う。 ●稼働率と家族の声を職員にフィードバックした。 	<p>④今後の課題</p> <p>稼働率を向上させることはできた。多くの利用者を受け入れ、家族や居宅ケアマネジャーにとって喜んでいただくことができた。しかし、利用者に対する「専門性を活かした質の高い介護サービス」という点においては改善の余地が多くある。稼働率による安定した経営を継続しつつ、介護サービスにおいても安心安全に利用していただけるよう努力していかなければならない。</p>
	<p>⑤参考資料など</p> <p>特になし</p>